

令和5年度 行政評価（令和4年度対象）に係る外部評価

- 令和5年7月21日に開催した清須市行政改革推進委員会において、施策評価を中心として、評価の妥当性・客観性の確保を主眼に、外部の視点からの評価（外部評価）を実施した。
- 外部評価にあたっては、今後の施策の展開に向けて、特に清須市行政改革推進委員会での意見聴取が必要な3施策（37施策中）を対象とした。
- また、外部評価における意見について、それに対する今後の市の考え方等を整理した。

1 「施策301 健康づくりの推進」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
1	<p>■市は、検診の受診率を増やしていくために、個別の病院を増やす方向性を考えているが、一方で、参考資料の4ページに記載されている施策に対する意見の中に、「価格が高い。」という声もある。この価格について、どのように考えているのか。また、価格の点について、他に高い市町村があるかもしれないが、そうした他の自治体との比較は考えられているのか。</p>	<p>■がん検診の自己負担金について、集団検診の自己負担金は、他市町と比べそれほど高い状況ではない。しかし、個別検診の自己負担金が高市町と比べると高く設定されている。受診率の向上を目指し、必要な価格、適切な価格を検討していく。</p>
2	<p>■がん検診における受診率の向上を主要な目標に設定しているのであれば、達成度指標に反映されているような指標があると分かりやすい。</p>	<p>■がん検診の受診率が向上する、すなわち受診しやすい環境を構築できているということとなり、市民満足度調査の満足度につながると考える。また、がん検診を受診する方が増える、すなわち健康的な生活習慣を心がけている市民が増えているということとなり、健康的な生活習慣を心がけている市民の割合につながると考える。</p>
3	<p>■がん検診の予約にWEB予約を新たに導入した結果、どのような効果があったか。</p>	<p>■予約環境の観点では、令和元年度まで、市が指定する日に公共施設において予約受付をしていたため多くの人が集まる状況があり、電話予約についても多くの電話が同時にかかってくるためつながりにくいという状況があった。令和4年度からは、WEB予約を導入したことにより改善できたと考える。 受診者数の観点では、新型コロナウイルス感染症の影響により受診者数が減っている状況もあり、過去との比較による評価が難しく、現状、評価ができていない。今後、評価の方法も含めて検討していく。</p>
4	<p>■がん検診の受診率について、直近では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、10%を下回る結果となっており、新型コロナウイルス感染症の拡大前の平成30年度や令和元年度においても40%に届いていない。そもそも40%という目標値が高過ぎるのではないか。</p>	<p>■国が策定している健康日本21計画では、目標を60%と設定しており、愛知県が策定している健康日本21あいち新計画（2013～2022）では、目標値を肺・胃・大腸がん検診は40%以上、乳・子宮がん検診は50%以上と設定しており、本市においても愛知県の目標値に合わせ、40%としている。</p>
5	<p>■「Ⅱ 達成度指標の状況」の「食生活改善推進員」における「目標値の達成見込」が三角となっており、「達成状況の分析」で、高齢化による辞退と新規の方の獲得ができていないと分析されているが、「Ⅴ 施策の評価と今後の方向性」において、その状況を改善する対策に関する記載がない。今後の方向性について、記載があると分かりやすくて良いと思う。</p>	<p>■今年度、食生活改善推進員の養成を考えている。食生活改善推進員の中には、仕事をしながら参加している方もおり、活動がしにくい状況もあるため、食生活改善推進員や関係機関の方のご意見を聞きながら、より活動しやすい環境、または、受講しやすい環境を作っていきたいと考えている。 また、「Ⅴ 施策の評価と今後の方向性」にも今後の方向性を加筆する。</p>
6	<p>■自殺者数が新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年から3倍ぐらいになっているかと思われる。それに関連し、精神保健費のところのうつ相談の開催数というの、目標が6回のところ2回の開催ということで、それに対応があまり伴っていないのではないか。</p>	<p>■うつ相談については、事業として6回を計画していたが、2ヶ月に1回という頻度のため、相談したいときに相談できる日程がなかったかと考えられる。 また、市内医療機関の医師に相談を依頼しており、その先生が病院にお見えになるのであれば、相談日の前に受診した方がよいというご意見もいただいているため、相談事業のあり方については検討していく。</p>
7	<p>■「Ⅳ 事務事業評価」における「精神保健費」の工夫した点に、啓発用名刺を全課の窓口及びトイレに設置したとあるが、心が疲れてしまっている方が、公のところに来て、啓発用名刺を手に取る機会がないのではないか。例えば、どこかの病院の窓口にも置いてもらうなど、告知する方法と受け皿がいろんなところにあるということを知ると、自殺者数などの数値に若干の変化が出てくるのではないか。</p>	<p>■市役所内での周知に留まっている現状であるため、スーパー・郵便局・薬局・医療機関窓口などに設置のご協力をいただき、啓発を図っていきたい。</p>

2 「施策305 医療保険・年金制度の適正運営」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
8	■特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率、後期高齢者医療健康診査の実施率、このあたりが目標未達になると、市民にどのような影響が出るか。	■国民健康保険努力支援者制度において、特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施率、収納率などが点数化されており、この点数を多く獲得できると、補助金が多く交付される仕組みとなっている。そのため、各項目について目標値を達成する、目標値に実績値を近づけることで、補助金を確保し、保険税率を下げるができる。 また、特定健康診査を受診していただき、対象の方には特定保健指導を実施することで、メタボリックシンドロームや糖尿病、高血圧等の重症化予防に関する指導、疾病の早期発見を行い、医療費の抑制につなげていく。
9	■特定保健指導を行える病院を増やしていくとあるが、すぐに増やすことができるのか。例えば、個別健診を受けている医療機関などに依頼し、承諾が得られるものなのか、保健師とか管理栄養士などをお願いしていくのか、もしくは、市から何か派遣をする方法をとられるのか、どのように考えているのか。	■毎年度、医師会を通じてご協力をお願いしている。これまで、新型コロナウイルス感染症の影響により、特定保健指導を医療機関にお願いするのが難しい状況であった。また、管理栄養士が配置されている医療機関を中心に調査等を行い、更に特定保健指導をお願いしていきたい。
10	■特定保健指導において、既に病院へ通院し定期的に診断を受けている方が特定健康診査健診において特定保健指導の対象となる結果だった場合、指導の対象者になるのか。または、普段から診断を受けているため、対象者から除外できるのか。	■国の実施基準により、血圧や血糖、脂質に係る服薬をしている場合、対象者から除外している。
11	■国民健康保険税や市県民税、固定資産税と各種税金の項目があるが、納税の順番に関し、順位があるか。また、税務課と徴収の調整を行うのか。	■滞納分の納税の順番については、収納課が決めている。また、納税の順番については、本人の希望を尊重し対応している。
12	■特定健康診査の受診率などの目標を達成すると、国民健康保険努力支援者制度として補助金が多く交付される旨を評価シートに書くことにより、達成度指標の各数値を記載する意図が分かるのではないか。	■行政評価シートは、各指標の数値を向上させるために実施事業について評価し、今後の方向性等について記載するものである。国民健康保険努力支援者制度による財政的な恩恵は、各指標の向上を目指す理由の1つではあるが、向上させるための手法ではないため、今回においては、国民健康保険努力支援者制度として補助金が多く交付される旨を評価シートに明記しない方が望ましい。

3 「施策602 文化・芸術活動の振興」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
13	■学校の授業の1つとして、美術館に来たりはしていないか。	■学校には、美術館の展覧会等の情報について共有をされており、課外活動等でご来館いただく場合もある。ただし、ここ数年、新型コロナウイルス感染症のため、学校運営を優先することから課外活動的な来館が止まっていたという状況がある。
14	■達成度指標について、美術館の来館者数だけでなく、美術館があり、そこに学芸員の方がいるということが清須市にどんな効果を示しているのかを測るような達成度指標があっても良い。	■抽象度の高い内容のため、指標としてお示しできるものがないか検討する。また、達成度指標については、清須市第2次総合計画に定めているものであり、現在、令和7年度を始期とした第3次総合計画を作成しているため、指標として適切なものがあれば、次期計画において追加できるよう調整する。
15	■この施策は、芸術の振興だけでなく文化の振興も含まれているが、文化活動については達成度指標を設けていないため、何か指標として挙げられるものはないか。	■同上